

2月 3日 幼児達も 豆まきをして鬼退治



国東町の南部こども園内に開設されている子育て支援センター「さくらんぼ」で、約30名の親子が参加して豆まきが行われました。親子で作った鬼のお面を被り、先生が扮した赤鬼と青鬼に向かって、「鬼は外、福は内」と親子で掛け声を出しながら豆まきをしました。

2月 13日 くにさき生涯学習 フェスタ

アストくにさきで、年齢に関わらず生涯にわたって学習している成果を発表する「第13回くにさき生涯学習フェスタ～絆深めて 楽しく参加」が開催されました。ステージでは、生涯学習功労者等の表彰や、意見・体験発表、団体発表が行われました。エントランス周辺や3階ギャラリーでは、数多くの作品が展示されていました。



1月 26日 旭日・小原の小学生 オペラ音楽を生で体感



大阪音楽大学の専属オーケストラ「ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団」が、国東町の旭日小学校で公演を行いました。今回の公演は、児童に生演奏にふれる機会を与えたいと旭日小学校が文化庁事業に応募して招きました。近くの小原小学校の児童も加わり約80名で鑑賞しました。児童代表3名は、指揮台に立ち、オーケストラの指揮を体験しました。

2月 11日 世界農業遺産を活用した 地域開発を語り合う

国東町の国東市世界農業遺産研究センターで、国東半島宇佐地域の中で世界農業遺産に関連する活動や興味を持っている方たちが集まり、地域開発のリーダーを育成する研修会が開催されました。この研修会は、県の委託を受けて一般社団法人地域未来計画が開催したもので、これから活用していく資源について話し合い、今後の地域開発に反映させていきます。



2月 8日 熊毛小の児童 空のお仕事を学ぶ



熊毛小学校で4～6年生計23名を対象に、日本航空の出前講座「お仕事講座」が開催されました。児童達は、日本航空の機長や客室乗務員の講師から、仕事の内容や想いについて学習しました。お客様に快適に過ごしてもらうために心がけていることや飛行機の操縦で注意していることなど日ごろ聞くことのできない話がありました。質問の時間では「生まれ変わっても同じ仕事をしたか」や「どうやったらなれるのか」など、次々と子ども達の手が挙がりました。



2月 16日 イタリアの大学生が 国東の食文化を学ぶ



「食科学」を専門とする世界で初めての大学「イタリアの食科学大学」の学生12名が、国東市の食材や食文化を学びました。学生達は、日本の食文化を学ぶための研修で日本を訪れており、国東市では国東特産のタコやシイタケを使った郷土料理を味わいました。また、世界農業遺産に登録された国東半島宇佐地域の農業の仕組みを学んだ後、シイタケ農家の清原米蔵さんのほだ場で、シイタケの収穫体験をしました。



2月 21日 9年ぶりの祝い事に 地域の有志が立ち上がる

国東町の下成仏地区で、新婚家庭を祝う伝統行事「舟づくり倉づくり」が行われました。今回は、昨年の11月に結婚した有永純平さんと美香子さんのために「宝舟」を作りました。前回までは、消防団員だけで実施していましたが、今回からは地区の有志が「舟づくり倉づくり保存会」を結成し、9年ぶりの祝い事を、立派な宝船で祝福しました。



2月 14日 子ども達が伝統を守る 丸小野子供修正鬼会

武蔵町丸小野地区の伝統行事「丸小野子供修正鬼会」が行われ、伝統を受け継ぐ地元の男児5名が大役を務めました。今年の座元は野田徹城さん宅で、男児たちは近くの武蔵川で「垢離取り」で身を清めてから盃の儀を行い、近くの山中にある稻荷様へ移動しました。子鬼たちは香水棒を打ち鳴らして舞を披露し、参拝者を囲み無病息災の加持をしました。



2月 21日 2人の門出を祝って 5年ぶりの船おろし

国見町の下櫛来地区で、地域内の結婚や家の新築の祝い事を、船の進水式をまねてお祝いする「船おろし」が行われました。今回は、昨年8月に結婚した宮本亨さんと恭子さんをお祝いするためのもので、前日の夜に宮本家の庭に宝船を作りました。船おろしの行事には、地域の方など約50名の方が集まり、地域を挙げて2人の門出を祝いました。

